3620
東証 1 部

株式会社デジタルハーツ

2012 年 3 月期 第 2 四半期決算概要

11 月 4 日発表の 2012 年 3 月期第 2 四半期決算を受け、株式会社デジタルハーツ（以下、デジタルハーツ）取締役の川口兼一郎氏に取材を行い、改善が顕著な収益動向の背景などを整理いたしましたので、その概要をご案内いたします。

2012 年 3 月期 第 2 四半期決算概要

まず、デジタルハーツは今期から連結決算を開始したため、連結ベースでの対前年同期の業績比較はなく、前期単体と今期連結との比較になる。2012 年 3 月期第 2 四半期累計期間（＝上期）の決算概要は【表 1】にあるとおり、全般に堅調に推移した。特に営業利益は、売上増に伴い、固定費負担が吸収され、利益率が大幅に上昇した（前年同期 11.4%→今期 17.7%）。

事業別動向について、デバッグ事業はコンシューマゲームリレーション（CS）、デジタルソリューションリレーション（DS）、アミューズメントリレーション（AM）のすべてにおいて、売上高が対前年同期で拡大した。特に CS の売上高構成比は、前年同期 43.4%であったものが、今期は 51.9%まで上昇した。過去約 3 年にわたり縮小傾向にあったコンシューマゲーム市場が底打ちしたこと、ゲームメーカーによるデバッグのアウトソーシング化が進んだことがこの上昇の背景にある。デバッグのアウトソーシング化の恩恵については、市場が縮小している時期もデジタルハーツが人員削減を行わず、戦略的にノウハウを蓄積。そのうえで、ゲームメーカーに対して積極的な営業を行った結果によるところが大きい

●【表1】2012 年 3 月期 上期業績サマリ

（百万円）	2011/3月期上期(単体)		2012/3月期上期（単体）			前年同期比		2012/3月期上期（連結）		
	実績	構成比	予想(10/13)	実績	構成比	増減額	増減率	予想(10/13)	実績	構成比
売上高	**1,881**	**100.0%**	**2,618**	**2,618**	**100.0%**	**737**	**139.2%**	**2,618**	**2,618**	**100.0%**
CS	**816**	**43.4%**	--	**1,360**	**51.9%**	**--**	**--**	--	--	--
DS	**387**	**20.6%**	--	**544**	**20.8%**	**--**	**--**	--	--	--
AM	**677**	**36.0%**	--	**712**	**27.2%**	**--**	**--**	--	--	--
売上原価	1,148	61.0%	--	1,625	62.1%	**477**	**141.6%**	--	--	--
うち労務費	997	53.0%	--	1,369	52.3%	**372**	**137.3%**	--	--	--
販売管理費	518	27.5%	--	516	19.7%	**-2**	**99.6%**	--	--	--
うち人件費	251	13.3%	--	258	9.9%	**7**	**102.8%**	--	--	--
営業利益	**214**	**11.4%**	**475**	**475**	**18.1%**	**261**	**221.7%**	**464**	**464**	**17.7%**
経常利益	**213**	**11.3%**	**473**	**474**	**18.1%**	**261**	**221.6%**	**462**	**463**	**17.7%**
純利益	**115**	**6.1%**	**255**	**255**	**9.7%**	**140**	**221.4%**	**244**	**244**	**9.3%**

※表は全て、（株）デジタルハーツ開示データをもとに（株）トリアスにて作成

このメモは投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このメモに記載されている内容は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容・意見は当該説明会時、ならびに/あるいは取材時における判断であり、今後、事前の連絡なしに変更されることもあります。投資に際しての最終決定は投資家の皆さまご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。

Copyright © 2012 Trias Corporation. All rights reserved.

2012 年 3 月期　通期業績予想

デジタルハーツは第 2 四半期決算発表時、通期予想の上方修正を発表した。売上高を 4,509 百万円から 5,057 百万円に、営業利益を 645 百万円から 721 百万円にそれぞれ修正した。この上方修正は主に、中核のデバッグ事業が堅調であることによる。CS では、ニンテンドー3DS、PlayStation®Vita をはじめとした新ハードウェア向けのソフトが開発されることから、デバッグ対象となるソフト（母数）の増加により案件の増加が見込まれる。DS は、スマートフォン市場の拡大に伴い、ソーシャルゲーム向け案件の増加がある。AM は、震災の影響を受け、前期まで AM の成長要因であったデバッグ工数が前年並みに留まった。

営業利益については、下期、新規事業ならびに海外事業への先行投資に伴いコストが発生するが、売上拡大により増加する見通しである。

●【表 2】2012 年 3 月期　通期業績予想

（百万円）	2011/3月期（単体）		2012/3月期（前回予8/26）		2012月/3期（今回予11/4）			前期比（単体）	
	実績	構成比	通期（単体）	通期（連結）	通期（単体）	通期（連結）	構成比	増減額	増減率
売上高	3,957	100.0%	4,509	4,509	5,029	5,057	100.0%	1,072	127.1%
営業利益	528	13.3%	645	645	772	721	15.4%	244	146.2%
経常利益	495	12.5%	646	646	751	701	14.9%	256	151.7%
純利益	278	7.0%	355	355	407	357	8.1%	129	146.4%

今後の成長に向けての取り組み

組織変更

会社は昨年春、組織変更を行った。それまで営業と業務という縦割組織であったものを、リレーションごとに営業と業務をそれぞれ組織し、各事業領域に合った提案ができる体制を作った。その結果、従来蓄積されてきた、それぞれの領域におけるノウハウを効率よく活用できるようになった。例えば、シリーズもののゲームの場合、そのタイトルに精通している担当者を継続的に抜擢。顧客からのニーズを汲み取り、より高い質のサービスを行えるようになった。

3D 事業、「Fuguai.com」事業の展開

デジタルハーツでは、3D 市場の拡大を予想し、2D コンテンツの 3D 変換技術に注目し、国内外ともに事業強化を行っている。特に、3D 映像変換時に必要となる、人手による画像処理であるロトスコープ作業（映像を合成する手段の一つで、撮影した映像の一部を切り取ること。2D 映像の背景から、3D 用にオブジェクトに切り抜く作業。）について、タイでトレーニングを開始しているほか、3D 変換技術が進んでいる韓国での事業拡大のための強化を行っている。その結果、昨年末に公開された「劇場版イナズマイレブン GO 究極の絆　グリフォン」に採用されるなど着実に実績を積み始めている。

また、2008 年、日本メーカーがより安全・高品質な製品づくりに貢献する姿勢をブランド化するために開設し

このメモは投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このメモに記載されている内容は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容・意見は当該説明会時、ならびに/あるいは取材時における判断であり、今後、事前の連絡なしに変更されることもあります。投資に際しての最終決定は投資家の皆さまご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。

Copyright © 2012 Trias Corporation.　All rights reserved.

たポータルサイト「Fuguai.com」。これは、日本国内で発売されているあらゆる製品の不具合情報を集めるサイトだが、現在 4,500 人以上の会員から不具合情報（＝ユーザーの声）が寄せられる体制になっており、今期事業化を目指して、事業本部を新設した。

海外事業戦略

潜在的ニーズのある市場への参入を進めている。その第一歩として、2010 年 11 月、欧州ゲーム市場でのサービス実績を持つ株式会社アクティブゲーミングメディア（本社大阪）と業務提携を行い、ネイティブスタッフによる翻訳などのサービスを拡充した。同社は、日本のコンシューマゲームメーカー向け翻訳サービスや、日本のゲームを欧州や米国の世界観や難易度に合わせ、現地化するための調査業務などを提供している。

2011 年 7 月には、韓国に子会社を設立し、デバックサービスのほか、3D コンテンツ制作サービスを提供している。韓国での事業は、今第 3 四半期から立ち上がる見込みで、業績貢献は来期以降と想定している。同じく 7 月、近年グローバルに拡がるデバッグニーズを受け、コスト競争力のあるユーザーデバッグサービス、ならびに 3D コンテンツ制作サービスを展開するため、デジタルコンテンツ映像制作に実績のある、デジクラフト社 (Digicrafts Co., Ltd. タイ王国) と業務提携を行った。同社のキャッシュフロー貢献は来年以降を想定している。さらに、2011 年 10 月、米国に子会社を設立したが、韓国子会社同様、ユーザーデバッグサービスと 3D コンテンツ制作サービスを提供する予定だ。

●【表 3】主な経営指標の推移

項　　目	単位	2008/9	2009/9	2010/9	2011/9
売上高	百万円	1,562	1,620	1,881	2,618
取引社数	社	472	578	693	880
登録者数	名	3,065	4,146	4,381	5,136
タイトルリーダー数	名	106	155	165	182
正社員数	名	118	152	152	163
バグ蓄積件数	件	260,000	390,000	510,000	610,000

対前年同期変化率	単位	2008/9	2009/9	2010/9	2011/9
売上高	%	--	3.7%	16.1%	39.2%
取引社数		--	22.5%	19.9%	27.0%
登録者数		--	35.3%	5.7%	17.2%
タイトルリーダー数		--	46.2%	6.5%	10.3%
正社員数		--	28.8%	0.0%	7.2%
バグ蓄積件数		--	50.0%	30.8%	19.6%

このメモは投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このメモに記載されている内容は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容・意見は当該説明会時、ならびに/あるいは取材時における判断であり、今後、事前の連絡なしに変更されることもあります。投資に際しての最終決定は投資家の皆さまご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。

Copyright © 2012 Trias Corporation.　All rights reserved.

ご参考

●連結主要指標と業績の推移

発行済株式数(株)	2011.3月	57,885
うち自己株式数(株)	2011.3月	0
時価総額(百万円)	2012.1.17	8,191
一株当純資産(円)	2011.3月	31,929.10
ROE(%)	2011.3月	15.0
ROA(%)	2011.3月	11.9
PER(倍)	2012.3月予	22.9
PCFR(倍)	2011.3月	24.6
PBR(倍)	2011.3月	4.4
株価(円)	2012.1.17	141,500
単元株数(株)	2012.1.17	--
日々平均出来高(株)	2012.1.17	196

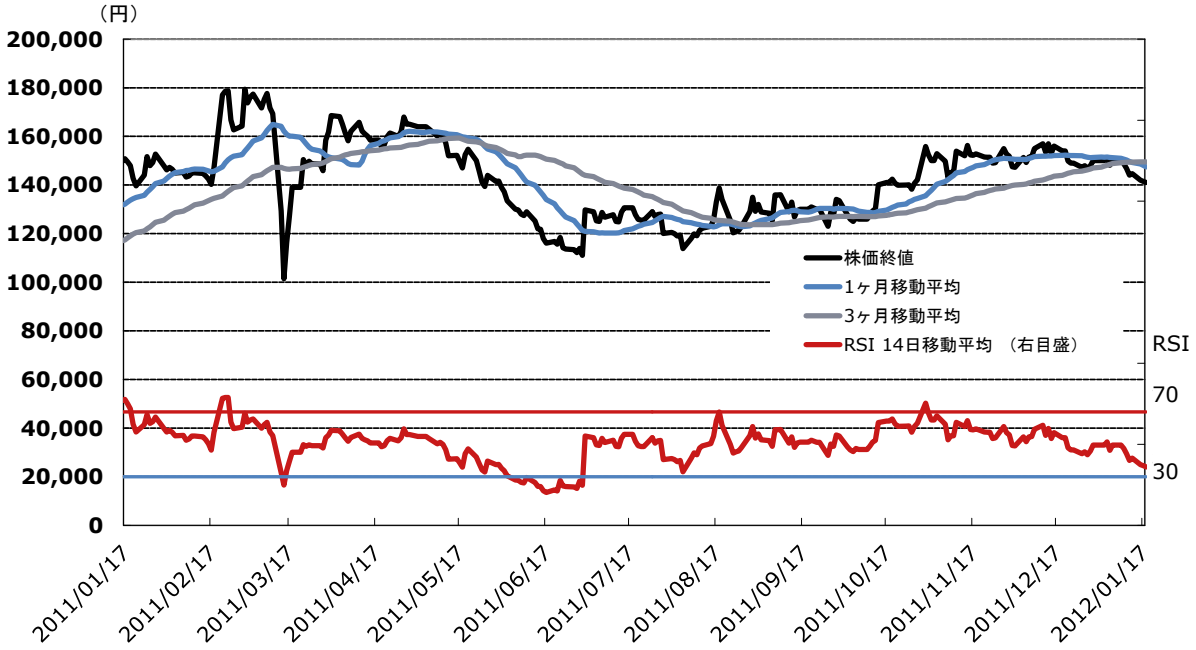
総資産(百万円)	2011.3月	2,343
自己資本(百万円)	2011.3月	1,848
有利子負債(百万円)	2011.3月	12
自己資本比率(%)	2011.3月	78.9
有利子負債比率(%)	2011.3月	0.0
フリーキャッシュフロー(百万円)	2012.9月	45

注: ROE=当期純利益÷期末自己資本
ROA=当期純利益÷期末総資産
PCFR=時価総額/(当期純利益+減価償却費)
日々平均出来高=過去1年間の平均
有利子負債比率=有利子負債÷自己資本
フリーキャッシュフロー(FCF)=営業CF+投資CF

(百万円)	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配(円)
2008年3月期	2,372	336	319	169	9,942.30	0.00
2009年3月期	3,378	641	643	347	6,035.86	500.00
2010年3月期	3,416	521	526	306	5,303.32	500.00
2011年3月期	3,957	528	495	278	4,820.11	750.00
2012年3月期上期	2,618	464	463	244	4,222.14	--
予2012年3月期	5,057	721	701	357	6,176.26	500.00

注 2012年3月期予想は、2011年11月4日発表の会社予想

●株価チャートと RSI



出所: Bloombergのデータをもとに Trias作成
注: RSI(Relative Strength Index)とは株価の「買われ過ぎ度」や「売られ過ぎ度」を指数で表したもの
一般的にRSIが70を超えると高値圏、30以下では安値圏に位置していると言われている
RSI= N日間の値上がり幅平均÷(N日間の値上がり幅平均+N日間の値下がり幅平均)x100

このメモは投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このメモに記載されている内容は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容・意見は当該説明会時、ならびに/あるいは取材時における判断であり、今後、事前の連絡なしに変更されることもあります。投資に際しての最終決定は投資家の皆さまご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。

Copyright © 2012 Trias Corporation. All rights reserved.